

### Ⅲ. 広聴業務

#### 1. 集団広聴

##### (1) まちづくり懇談会

市長が地域に出向いて直接対話することにより、市政に対する理解を深めてもらうとともに、本市のまちづくりについて、市民と行政が共に考えることにより、市民の市政への参画を促進することを目的に、平成11年度から実施。

平成16年度までは宇都宮市自治会連合会との共催で実施していたが、17年度からは地域まちづくり組織との共催とし、地域の課題解決に向けて、市民と行政が、それぞれ何ができるかを共に考える場となっている。

平成28年度は5回の懇談会を実施し、42件の意見・要望が出された。

##### 《開催状況》

回数	開催日	開催地区	場 所	参加人数	地域代表意見数	総合計画意見数	自由討議件数
1	6月29日(水)	陽東	老人福祉センターふれあい荘	43名	2件	0件	5件
2	7月1日(金)	緑が丘	緑が丘地域コミュニティセンター	51名	2件	1件	6件
3	7月28日(木)	富士見	富士見地域コミュニティセンター	21名	2件	2件	4件
4	8月2日(火)	河内	河内地域自治センター	40名	2件	1件	7件
5	8月30日(火)	上河内	上河内保健センター	123名	2件	1件	5件
小 計					10件	5件	27件
合 計				278名	42件		

##### 《地域代表意見の内容》

###### ○ 第1回 陽東地区

- 1 LRTや既存交通，新たな地域内交通等を組み合わせた陽東地区の効果的・効率的な交通の整備について
- 2 旧市土木補修事務所跡地への災害時の避難場所（公園）の設置について

###### ○ 第2回 緑が丘地区

- 1 災害時の飲料水等の確保について
- 2 東武線下の地下道のスロープについて

###### ○ 第3回 富士見地区

- 1 都市計画道路整備の推進について
- 2 退職した市及び県の職員の自治会参画について

- 第4回 河内地区
  - 1 かわち地域ビジョンの策定とネットワーク型コンパクトシティの実現について
  - 2 平成24年7月24日の懇談会の未解決事項について
  
- 第5回 上河内地区
  - 1 今後の上河内保健センターの活用について
  - 2 上河内地域の児童数について

《まちづくり懇談会参加者アンケート調査結果（5地区分）》

① 年齢構成

区分	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80以上	無回答	計
人数	1名	0名	3名	4名	17名	72名	61名	5名	0名	163名
構成比	0.6%	0.0%	1.8%	2.5%	10.4%	44.2%	37.4%	3.1%	0.0%	100.0%

② 性別

区分	男	女	計
人数	124名	39名	163名
構成比	76.1%	23.9%	100.0%

③ 懇談会の感想

区分	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	計
人数	47名	87名	13名	2名	14名	163名
構成比	28.8%	53.4%	8.0%	1.2%	8.6%	100.0%

④ 関心のある分野（複数回答）

区分	保健・医療・福祉対策	防災・防犯・交通安全対策	市民協働のまちづくり	公共交通網の充実	学校教育家庭教育の充実	子育て・少子化対策	青少年育成・男女共同参画
人数	89名	74名	44名	72名	34名	49名	21名
構成比	14.9%	12.4%	7.4%	12.1%	5.7%	8.2%	3.5%
区分	文化・スポーツ・生涯学習の推進	環境・衛生・ごみ対策	商工業・観光の振興	農林業の振興	道路・河川・公園等の整備	その他	計
人数	42名	70名	18名	28名	56名	0名	597件
構成比	7.0%	11.7%	3.0%	4.7%	9.4%	0.0%	100.0%

## (2)市長とランチでトーク

市民と市長が食事をしながら、特定のテーマに沿って気軽に意見交換を行うことにより、市民がこれからも住み続けたいと思えるような宇都宮のまちづくりについて、政策のヒントを得ることを目的に、平成17年度から実施。

平成28年度から、カフェタイムでのトークを実施。

平成28年度は、5回の意見交換を実施。

### 《実施状況》

#### ○ 第1回目【一般編】

- ・ 実施日 平成28年5月30日（月）12:00～13:00
- ・ 参加者 パラノス会（子育て、労働環境の改善、自分達の人間性の向上を目的とした団体） 6名
- ・ 場 所 第2応接室
- ・ テーマ 健康・福祉について
- ・ 懇談の主な内容
  - 1 パラノス会の活動内容
  - 2 子育てに優しいまちづくりについて

#### ○ 第2回目【大学生編】

- ・ 実施日 平成28年6月30日（木）14:30～15:30
- ・ 参加者 作新学院大学経済学部大学生、大学院生 15名
- ・ 場 所 宮カフェ
- ・ テーマ 宇都宮の魅力について
- ・ 懇談の主な内容
  - 1 自分達の活動内容について
  - 2 これからの宇都宮市の魅力づくりについて

#### ○ 第3回目【小中学生編】（施設めぐりと合同開催）

- ・ 実施日 平成28年7月28日（木）
- ・ 参加者 小中学生 20名(保護者13名)
- ・ 場 所 特別会議室
- ・ テーマ 宇都宮について
- ・ 懇談の主な内容
  - 1 市長になったきっかけについて
  - 2 おすすめの観光スポットについて

#### ○ 第4回目【高校生編】

- ・ 実施日 平成28年8月22日（月）12:00～13:00
- ・ 参加者 宇都宮短期大学附属高等学校音楽家、調理科生徒 12名
- ・ 場 所 特別会議室

- ・ テーマ 宇都宮の魅力について
- ・ 懇談の主な内容
  - 1 教育（専門学科の学習内容）について
  - 2 宇都宮の魅力（好きな場所）について
  - 3 将来の夢について

### (3)ふれあいトークキング～市長と給食当番～

市長が小学校に出向き、未来を担う子どもたちとの対話を通して、子どもたちに市政をより身近に感じてもらうとともに、今後のまちづくりの参考とすることを目的に、平成17年度から実施。

平成25年度から、子どもたちの食への関心を高め、感謝の心をはぐくむことを目的として、平成20年度から全小中学校で実施している「おべんとうの日」と統合して実施（毎年度最終回で実施）。

平成27年度から、市長による宇都宮の魅力や取組についての授業を実施。

平成28年度は、5回の懇談を実施。

#### 《実施状況》

回	実施日	実施校
1	5月31日（火）	西が岡小学校
2	6月9日（月）	雀宮南小学校
3	7月8日（金）	御幸小学校
4	7月12日（火）	城東小学校
5	11月29日（火）	陽南小学校（おにぎりの日）

#### (4) 施設めぐり

市民に市政への理解を深めていただくために、市の施設をはじめ、広く市内一円の現状を見聞し、市と市民相互の信頼と連帯感を養い、市民参加によるまちづくりの推進を図る。

平成24年度、老人会や婦人会などの団体を対象とした事業を廃止し、本市在住又は通勤・通学している方を対象とした事業のみとした。

平成28年度から「宇都宮の魅力めぐり」として、宇都宮のブランドの視点を取り入れた施設をコースに設定。

平成28年度は5回実施、202名の参加。

##### 《施設めぐり》

回	開催日	【テーマ】・見学場所	参加人数 (申込人数)
1	6月29日 (水)	「魅力満喫 緑あふれる 初夏の施設めぐり」 八幡山公園(宇都宮タワー)⇒市美術館⇒ろまんちっく村(昼食)⇒梵天の湯⇒白沢公園・白沢宿	45名 (49名)
2	7月28日 (木)	「親子で楽しもう 施設めぐり&市長とトーク」 中川染工場⇒篠原家住宅⇒中央卸売市場⇒JR宇都宮駅東口周辺(昼食)⇒とびやま歴史体験館⇒(株)アキモ漬物工場 ※施設見学後、市長とトーク(3階特別会議室)	13組33名 (15組38名)
3	8月31日 (水)	「美味しいもの満載 初秋の施設めぐり」 一条中学校新校舎⇒中央卸売市場⇒JR宇都宮駅東口周辺(昼食)⇒とびやま歴史体験館⇒山口果樹園⇒農業大学校⇒東部選果場	46名 (50名)
4	10月26日 (水)	「宇都宮の秋の魅力 紅葉の中の施設めぐり」 聖山公園⇒森林公園⇒ろまんちっく村(昼食)⇒荒牧りんご園⇒上河内民族資料館⇒鬼怒グリーンパーク白沢⇒駅東ポプラ並木	40名 (45名)
5	12月22日 (木)	「宇都宮の冬の魅力を楽しむ施設めぐり」 県立美術館⇒ろまんちっく村⇒新里ねぎ農場⇒大谷資料館⇒松が峰教会⇒宮カフェ	38名 (45名)
計			202名 (227名)

《施設めぐり参加者アンケート調査結果》

① 実施回数・人数（申込人数と参加人数の差名は、キャンセル待ちとキャンセル人数）

実施回数	申込人数	参加人数
5回	227名	202名

※申込人数と参加人数の差は、キャンセル待ち（5名）及びキャンセル人数（20名）

※1回あたりの参加人数は平均40.4名、申込人数は平均45.4名

※第5回からは定員を50名から40名に変更し、キャンセル待ち（5名）を受けるとして。

② 参加者の年代

区分	30歳代未満	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	無回答	計
人数	23名	9名	4名	12名	77名	66名	8名	3名	202名
構成比	11.4%	4.4%	2.0%	5.9%	38.1%	32.7%	4.0%	1.5%	100.0%

③ 性別

区分	男性	女性	無回答	合計
人数	59名	140名	3名	202名
構成比	29.2%	69.3%	1.5%	100.0%

④ 施設めぐり参加回数

区分	はじめて	2回目	3回目	4回目	5回以上	無回答	計
人数	91名	38名	37名	10名	22名	4名	202名
構成比	45.0%	18.8%	18.3%	5.0%	10.9%	2.0%	100.0%

## 2. 個別広聴

### (1) 市政に関する世論調査（第49回）

#### ① 調査の目的

この調査は、市民が市政についてどのように考え、また何を望んでいるのかを統計的に把握し、市政運営にあたっての基礎資料とすることを目的に、昭和43年以降毎年実施。

#### ② 調査項目

調査事項		調査項目
No.	回答者属性	性別、年齢、職業、家族構成、居住年数、居住地域、居住地区
1	宇都宮市に対する感じ方	宇都宮市の好き・嫌い、好きな理由、嫌いな理由
2	広報媒体の活用状況	「広報うつのみや」の入手方法、「広報うつのみや」で読んでいる記事、アプリを利用した動画視聴状況、市政情報の各広報媒体の視聴状況、ホームページを見るための主な手段、ホームページで知りたい情報はどこから探すか、ホームページで知りたい情報は探しやすいか、ホームページで充実してほしい情報や機能
3	特別支援教育	「発達障がい」、「特別支援教育」の認知度
4	市政情報コールセンターと「よくある質問」	コールセンターの認知度、コールセンターの利用状況、ホームページの「よくある質問」検索システムの認知度、ホームページの「よくある質問」の利用状況
5	男女共同参画	「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」の認知度、生活の中で何を優先するか、配偶者等からの暴力を受けた経験、暴力を受けたときに誰かに相談したか
6	宇都宮市の景観	宇都宮市内で「景観」と聞いてイメージするもの、宇都宮市の景観は10年前と比べてどうなったと感じるか、宇都宮市内で「歴史を感じる魅力的な建物」は何か、「歴史を感じる魅力的な建物」の魅力PR方法
7	中央卸売市場の一般開放	中央卸売市場の一般開放の認知度、来場回数、市場に来場してどのように感じたか、一般開放に行かない理由、行ってみたい一般開放とは、市場開放の魅力向上のため今後必要なもの
8	市税クレジット納付	納税方法・場所、クレジットカードの利用状況、市税のクレジット納付を利用したいか
9	うつのみや産の農畜産物	「うつのみや産」の農畜産物の購入希望度、宇都宮の農業を大切にしたいか
10	住宅用火災警報器	「住宅用火災警報器」設置義務の認知度、「住宅用火災警報器または自動火災報知設備」の設置状況、「住宅用火災警報器等」を設置していない理由、「住宅用火災警報器等」の点検等実施状況



11	市民活動への参加意識	「市民活動」の参加状況，どのような良さがあるか，市民活動を活性化させるために整備すべきこと
12	生物多様性	「生物多様性」，「外来種が及ぼす影響」の認知度，どのような場所で自然に親しむ機会を得ているか
13	ごみの排出状況	リユースショップ（リサイクルショップ）やフリーマーケットの利用状況，利用しない理由，資源物の排出方法
14	中心市街地の活性化	中心市街地の利用頻度，出かける目的，中心市街地の魅力を高めるために充実して欲しいこと
15	社会総ぐるみによる人づくり	子どもとの関わり方，子どもの手本となることへの意識，手本となるべき大人に問題を感じているか
16	健康づくりの取り組み	健康を意識した運動の有無，運動を行うきっかけ，どのような環境があれば健康を意識した運動に取り組むか

③ 調査の設計

- 調査地域 宇都宮市全域
- 調査対象 満20歳以上80歳未満の日本国籍を有する市民4,800人
- 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- 調査方法 郵送法（回収にあたってはインターネットを併用）
- 調査期間 平成28年7月29日～8月12日

④ 回収結果

- 標本数 4,800
- 有効回収数 2,470
- 有効回収率 51.5%

## (2)パブリックコメント

宇都宮市では、市民協働のまちづくりをより一層進めるため、市政への意見提案手続き、いわゆる「パブリックコメント手続き」を平成14年度から制度化。

パブリックコメント制度とは、市の重要な施策、たとえば計画などを策定していく中で、その計画などの素案を公表し、広く市民の皆さんに意見や情報を求め、提出された意見などを考慮して決定していくもの。また、意見などに対しても、市の考え方を公表していく。

この制度を活用することにより、政策決定過程における公正性の確保と透明性の向上を図り、市民参加による開かれたまちづくりの実現を目指す。

平成28年度は、8案件に対し、34件の意見あり。

### 《実施案件》

No.	案 件 名	意 見 提出者数	意見数
1	「宇都宮市公共施設等総合管理計画」(素案)に関するパブリックコメントについて	4人	5件
2	特定個人情報保護評価書 個人住民税課税に関する事務 全項目評価に関するパブリックコメントについて	0人	0件
3	特定個人情報保護評価書 個人住民税課税に関する事務 全項目評価に関するパブリックコメントについて	0人	0件
4	第2次宇都宮市スポーツ施設整備計画(素案)に関するパブリックコメントについて	3人	3件
5	「宇都宮市立地適正化計画」(素案)に関するパブリックコメントについて	2人	12件
6	「第3次宇都宮市食育推進計画」(素案)に関するパブリックコメントについて	5人	5件
7	「宇都宮市国土強靱化地域計画」(素案)に関するパブリックコメントについて	2人	4件
8	「宇都宮市空き家等対策計画」(素案)に関するパブリックコメントについて	2人	5件
合 計		8件	34件

### (3)宮だより（ふれあい通信）

市民参加による連帯感あふれるまちづくりのため、市民の身近な所44か所に専用の便箋と封筒を常備した「ふれあい通信」を設置し、気軽に市政に対する意見やアイデア等を文書で申し出ることにより、市政への関心の高揚と市民参加意識の促進を図る目的で実施。

平成28年度には、407通、412件の意見・要望あり。（投書を除く）

#### ○ 処理内訳

- ・ 回答をしたもの 75件
  - ※ 各課から回答を受領し、申出人に回答した。また、一部については、各課から直接申出人に回答した。
- ・ 参考処理 337件
  - ※ 申出人が「回答不要」と申し出たものや匿名で寄せられたものなどについては、参考意見として各課に回付し、市政の参考にした。

#### 《設置施設別收受通数》

- ・ 平成28年度から、「東武百貨店」の設置を廃止し、「道の駅うつのみやろまんちっく村」、「ララスクエア宇都宮」、「ベルモール」に新たに設置した。

No.	設 置 施 設	通 数		
		H28年度	H27年度	H26年度
1	市庁舎市民ホール	23	42	25
2	宝木出張所	1	0	0
3	陽南出張所	0	2	1
4	平石地区市民センター	2	5	2
5	横川地区市民センター	1	0	0
6	富屋地区市民センター	0	0	1
7	姿川地区市民センター	2	5	3
8	城山地区市民センター	0	2	2
9	国本地区市民センター	0	1	2
10	豊郷地区市民センター	0	1	2
11	清原地区市民センター	322	6	6
12	瑞穂野地区市民センター	1	2	0
13	篠井地区市民センター	0	0	0
14	雀宮地区市民センター	3	0	2
15	総合コミュニティセンター	0	1	5
16	東市民活動センター	2	0	0
17	保健センター	0	0	1
18	総合福祉センター	4	6	5
19	観光案内所（JR宇都宮駅構内）	3	0	0

20	東武宇都宮駅	0	2	0
21	東武江曾島駅	4	1	4
22	関東バス駅前定期券発売センター	0	0	0
23	東武百貨店 ※H26年度まで設置	-	-	2
24	中央図書館	0	3	2
25	東図書館	8	4	5
26	上河内地域自治センター	1	0	1
27	上河内図書館	0	1	0
28	河内地域自治センター	3	3	0
29	河内図書館	12	4	52
30	市民プラザ	0	4	2
31	保健所	0	6	0
32	中央市民活動センター	1	0	1
33	西市民活動センター	0	0	1
34	南市民活動センター	0	3	0
35	北市民活動センター	0	0	0
36	茂原健康交流センター	0	3	2
37	老人福祉センターふれあい荘	1	3	0
38	老人福祉センターやすらぎ荘	1	0	0
39	老人福祉センターすこやか荘	3	2	0
40	老人福祉センターことぶき会館	2	0	0
41	上河内老人福祉センター	0	0	0
42	南図書館	2	1	1
43	道の駅うつのみや ろまんちっく村	0	2	-
44	ララスクエア宇都宮	1	0	-
45	ベルモール	4	1	-
計		407	116	103

#### (4)宮だより（市長へのFAX）

市長への専用ファクシミリを設置し、広く市民から市政に対する意見・要望や提言などを受け付け、市長が直接目を通すことにより、市民の声を生かした市政運営を推進することを目的に、平成11年7月から実施。

平成28年度には、67通で72件の意見・要望あり。

##### ○ 処理内訳

- ・ 回答をしたもの 21件

※ 各課から回答を受理し、申出人に回答。また、一部については、各課から直接申出人に回答。

- ・ 参考処理 51件

※ 申出人が「回答不要」と申し出たものや匿名で寄せられたものなどについては、参考意見として各課に回付し、市政の参考にした。

#### (5)宮だより（市長への電子メール）

市のホームページの「市長へのメール」を利用して、広く市民から市政に対する意見・要望や提言などを受け付け、市長が直接目を通すことにより、市民の声を生かした市政運営を推進することを目的に、平成11年7月から実施。

平成28年度には、325通333件の意見・要望あり。

##### ○ 処理内訳

- ・ 回答をしたもの 276件

※ 各課から回答を受理し、申出人に回答。また、一部については、各課から直接申出人に回答。

- ・ 参考処理 57件

※ 匿名で寄せられたものなどについては、参考意見として各課に回付し、市政の参考にした。